

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスひかり宇美校						公表日	令和8年4月1日	
						利用児童数	27名		
						回収数	23件		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21			2	十分な広さはあるかと思えます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1		3	配置数は足りていると思いますが、紹介してほしいです。	事業所内やにスタッフの保有資格、経歴、メッセージ等を掲載し、スタッフへ声を掛けやすい環境を作ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23				なっていると思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23				なっていると思います。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1			専門性のある支援ではないと思えます。	感覚統合遊びやSSTを月間プログラムに組み込み専門的なアプローチを意識的に取り入れます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23				大丈夫だと思います。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22		1		きちんと作成されています。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			1	内容も適切に設定されていると思えます。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23				行なわれていると思えます。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23				色々あると思えます。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	3	8	多分ないと思えます。	集団活動が苦手な児童もいる為、本人の特性や保護者の要望に応じ、自然な交流の機会を段階的に企画します。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23				ありました。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23				していました。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	1	6	多分ないと思えます。	定期的なモニタリングや面談を行い「家族支援」の一環であることを伝え、いつでも相談を受ける姿勢を示します。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1	1		日頃からはない気がします。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	1	1	面談があります。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1			大丈夫だと思います。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4		2	クリスマス会がありますがとてもいい機会だと思っています。	茶話会などをイベントを機会に行い情報や状況の共有を行っていきます。多くの保護者に積極的に参加を募ります。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23				電話やLINEですぐに対応してくれます。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				LINEができるようになって連絡しやすくなりました。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		3	しています。楽しみにしています。	活動のねらいを事業所たよりやSNS等で保護者に定期的に発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			2	多分していると思います。	職員には個人情報の漏洩を禁止する誓約を交わし、SNS等その他の媒体に掲載する情報は保護者の同意を必要とする。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2		1	訓練はよくしているので安心しています。	各マニュアルを作成し、職員にも熟識させ対策を徹底しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			3	していると思います。	毎年6月、12月に地震、水害を想定した総合避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			1	最初に説明を受けました。	安全確保についてはマニュアルを作成し、職員にも熟識させ対策を徹底しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1			大丈夫だと思います。	速やかに連絡するようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				小学校よりひかりが好きと言うくらい、いいみたいです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1			楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				子どもの成長を本当に実感しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスひかり宇美校				公表日	令和8年4月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		指導訓練室スペースは65.89㎡を有し、十分な広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		送迎が重なる際には職員不足にならないよう配置することを注意する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		施設内はバリアフリーの設計になってます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の意見を取り入れ、療育及び日頃できない様々な体験などを通して、工夫しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	保護者の評価結果を全職員が確認した上で業務の参考にしてている。	外部評価は今後検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		相談支援事業者と連携を取り、子どもに応じた個別支援計画を作成し、6ヶ月おきに支援の進み具合を確認し、中間評価を行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員一同で、日頃できない様々な活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		様々な体験、運動、書道、クッキングなどを体験を通じ、成長とコミュニケーションを身につけられるよう工夫しています。	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前、職員と情報を共有し支援の内容や役割分担について確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎朝報告会を開き、出来事及び注意事項を確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせずして支援を行っているか。	7		ガイドラインを確認し基本活動を複数組み合わせずして支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	保護者より情報は頂きますが、就学前の利用施設との連携は行っていません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		健全児との交流は事故等の事も含め慎重に行うように心がける。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		地域の協議会は定期的に行われている。自発管、管理者が参加しているが、今後一般職員にも参加させていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		適切な説明をさせて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		お子様の活動は、連絡帳やSNSで伝えていきます。また「ひかりだより」や連絡帳で行事予定をお伝えするようになっています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		職員に徹底した指導を行い、「秘密保持及び個人情報の保護」の法律を厳守しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童や保護者との意思の疎通や情報伝達は、直接的又は、連絡帳などを利用し、今後も配慮していきたいと考えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	敬老の日又は、季節のイベントでは、地域の方にご協力をいただき、参加しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		流行している病気又は、感染症、怪我等協力医療機関からの情報を基に、職員一同周知徹底をさせています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画（BCP）を作成し、避難訓練など定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事故、怪我等の事例を確認し、共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待を防止するため、職員の研修機会を開催しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		放課後等デイサービス計画に記載しています。		